2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社アゴーラホスピタリティーグループ　　上場取引所　東
コード番号　　9704　　ＵＲＬ　https://www.agora.jp/group
代表者　　（役職名）代表取締役会長　　（氏名）ウィニー・チュウ・ウィン・クワン
問合せ先責任者　（役職名）取締役ＣＦＯ　　（氏名）シ・フェイティン　　ＴＥＬ　03-3436-1860

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,313	△14.1	208	△73.8	114	△85.1	△182	－
2025年12月期第３四半期	7,350	22.7	795	503.1	769	374.8	1,432	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△15百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　1,560百万円（694.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△0.68	－
2025年12月期第３四半期	5.43	－

（注）2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。2025年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	20,287	9,029	26.5
2025年12月期	20,988	8,850	26.7

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　5,383百万円　2025年12月期　5,610百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	△4.1	950	△10.0	800	△8.0	250	△80.4	0.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	281,708,934株	2025年12月期	281,708,934株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	15,005,121株	2025年12月期	15,005,055株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	266,703,835株	2025年12月期３Ｑ	263,808,410株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料Ｐ３「１．経営成績の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間(2026年１月１日～2026年９月30日)の日本政府観光局発表の訪日外国人客数は、継続する円安傾向のもと、累計で3,073万人（前年同期比2.9%減）となりました。韓国（同21.6%増）・台湾（同19.1%増）・米国（同5.2%増）といった主力市場が好調に推移し、インド・東南アジアなどの新興訪日市場が多様化している一方で、中国からの訪日客は前年同期比55.5%減と大きく減少しました。

このようななか、ホテル事業を中核とする当社グループは、インド・東南アジアなどの新興訪日市場の開拓に努めておりますが、関西エリアにあるホテルにおいて訪日外国人客の減少を受けたことに加え、2025年７月にアゴーラ プレイス 大阪難波の運営を終了したことなどにより、第３四半期連結累計期間の売上高は6,313百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

営業利益は208百万円（前年同期比73.8%減）となりました。これは、連結売上高の減少に伴う利益の減少のほか、減価償却費、第10回ストック・オプションの株式報酬費用等の営業費用が増加したことによります。

経常利益は114百万円（前年同期比85.1%減）となりました。その主な要因は、営業外収益として131百万円を計上した一方、営業外費用を225百万円計上したことによります。営業外収益131百万円は、保有する外貨建資産において円安が進行したことによる為替差益53百万円の計上や、昨年開業したホテルの施工不良に対する是正工事及び、一時休業に関する営業補償金28百万円を受領したことによります。営業外費用225百万円は、支払利息160百万円に加え、オーストラリアで分譲住宅用土地販売を手掛ける持分法適用関連会社において、持分法による投資損失15百万円を計上したことなどによります。

法人税等合計が86百万円となったことにより、四半期純利益は28百万円となりました。非支配株主に帰属する四半期純利益は211百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は182百万円（前年同期は1,432百万円の利益）となりました。なお、前年同期は債務免除益など1,142百万円を特別利益に計上していました。

当社グループの売上高は、例年、第１四半期から第３四半期まではおおむね同水準で推移し、第４四半期に大きく増加する傾向があります。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

昨年の大阪・関西万博の反動に加え、中国による日本への渡航自粛の影響が続き、関西国際空港の外国人入国者数は７～９月も前年同期比19.3%減となりました（※）。

その結果、宿泊事業における売上高は5,596百万円（前年同期比15.6%減）となり、営業利益は710百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

大阪エリアにおいては、稼働率の低下とともに客室平均単価（ADR）も低下しました。このようななか、インドなどこれまで誘致を強化してこなかった国からの誘客や、レストラン・宴会部門の強化に努めております。ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺を運営する株式会社アゴーラホテルマネジメント堺においては、９月にアジア大会関連の宴会需要を取り込んだものの、売上高は2,222百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は234百万円（前年同期比17.0%減）となりました。また、ホテル アゴーラ 大阪守口を運営する株式会社アゴーラホテルマネジメント大阪は、売上高は1,106百万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は72百万円（前年同期比48.1%減）となりました。なお、2025年３月に開業したドーセット バイ アゴーラ 大阪堺を運営する株式会社アゴーラホテルマネジメント大阪堺は、売上高は776百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は181百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

東京エリアにおいては、成田国際空港・東京国際空港（羽田空港）の外国人入国者数は７～９月において前年同期比1.0%増と、前年並みの水準で推移しています（※）。東京エリアにあるアゴーラ プレイス 東京浅草及びアゴーラ 東京銀座を運営している株式会社アゴーラホテルマネジメント東京は、売上高が前年の1,177百万円から1,190百万円（前年同期比1.1%増）へ、営業利益が626百万円から652百万円（前年同期比4.2%増）へとそれぞれ増加しました。

※ 外国人入国者数は、法務省出入国在留管理庁「出入国管理統計」を基に当社集計。2026年９月は速報値。

② その他投資事業

その他投資事業においては、売上高は716百万円（前年同期比0.7%減）となり、前年の722百万円から５百万円の減少となりました。

また、営業利益は48百万円（前年同期比63.4%減）となりました。その内訳は、マレーシアにおける霊園事業の売上が698百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益が62百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

一方で証券投資事業においては、前年同期は主に香港証券市場に上場する株式・社債の為替評価損益などにより売上が36百万円、営業利益が30百万円であったのに対し、当第３四半期連結累計期間においては有価証券売却損51百万円等により売上高の計上はなく、営業損失は25百万円となりました。

なお、住宅等不動産事業の売上高は前年とほぼ変わらない18百万円、営業利益は11百万円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3.3％減少し、20,287百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.5％減少し、6,039百万円となりました。これは、現金及び預金が218百万円、有価証券が94百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1％減少し、14,109百万円となりました。これは、有形固定資産が294百万円、無形固定資産が113百万円減少したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて18.5％減少し、139百万円となりました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて7.2％減少し、11,258百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて36.9％減少し、2,394百万円となりました。これは、１年内返済予定の長期借入金が807百万円、未払法人税等が318百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.3％増加し、8,863百万円となりました。これは、長期借入金が530百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.0％増加し、9,029百万円となりました。これは、新株予約権が194百万円、非支配株主持分が210百万円増加した一方、利益剰余金が182百万円減少したことなどによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間の連結業績は、関西エリアにおける訪日外国人客の減少や大阪・関西万博の反動等により、前年同期を下回りました。一方、通期業績予想につきましては、現時点では2026年２月13日公表の予想を据え置いております。これは、当社のホテル事業の売上が観光シーズンと重なる第４四半期に偏重する傾向があることに加え、東京エリアのホテルにおいて第４四半期の売上が当初の計画を上回って推移する見込みであるなど、第４四半期の業績を見極める必要があることによります。なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,566,429	3,347,522
売掛金	559,101	502,826
有価証券	94,835	528
貯蔵品	101,329	58,644
開発事業等支出金	1,685,842	1,775,182
その他	261,632	368,387
貸倒引当金	△13,307	△13,474
流動資産合計	6,255,864	6,039,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,698,072	7,397,985
車両運搬具（純額）	15,259	10,638
工具、器具及び備品（純額）	201,390	191,639
土地	5,510,992	5,510,992
建設仮勘定	1,272	21,255
有形固定資産合計	13,426,986	13,132,511
無形固定資産		
ソフトウエア	18,594	14,341
のれん	539,732	430,339
無形固定資産合計	558,327	444,680
投資その他の資産		
投資有価証券	188,922	180,709
長期貸付金	472,881	496,070
繰延税金資産	155,761	123,319
その他	114,857	104,614
貸倒引当金	△355,253	△372,612
投資その他の資産合計	577,169	532,101
固定資産合計	14,562,482	14,109,292
繰延資産	170,467	139,008
資産合計	20,988,815	20,287,920

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,227	241,633
１年内返済予定の長期借入金	1,190,849	383,249
未払金	1,176,569	1,119,467
未払費用	31,432	24,863
未払法人税等	321,377	2,788
賞与引当金	186,638	70,625
その他	564,251	552,320
流動負債合計	3,797,346	2,394,948
固定負債		
長期借入金	7,721,891	8,252,603
長期預り保証金	226,922	227,389
繰延税金負債	34,045	25,934
その他	357,985	357,815
固定負債合計	8,340,844	8,863,742
負債合計	12,138,190	11,258,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,688,893	2,688,893
利益剰余金	△5,445,501	△5,628,176
自己株式	△548,684	△548,687
株主資本合計	5,229,114	5,046,436
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	380,967	336,887
その他の包括利益累計額合計	380,967	336,887
新株予約権	64,800	259,200
非支配株主持分	3,175,742	3,386,705
純資産合計	8,850,624	9,029,229
負債純資産合計	20,988,815	20,287,920

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,350,859	6,313,943
売上原価	4,796,991	4,072,890
売上総利益	2,553,867	2,241,053
販売費及び一般管理費	1,758,455	2,032,665
営業利益	795,412	208,387
営業外収益		
受取利息	16,341	26,108
受取配当金	－	1
受取家賃	5,268	17,153
為替差益	－	53,122
持分法による投資利益	61,496	－
プリペイドカード失効益	788	569
違約金収入	59,733	－
受取補償金	－	28,687
その他	23,893	5,598
営業外収益合計	167,521	131,241
営業外費用		
支払利息	119,972	160,908
資金調達費用	10,499	8,752
持分法による投資損失	－	15,577
為替差損	16,279	－
開業費償却	35,923	34,756
その他	10,747	5,009
営業外費用合計	193,422	225,004
経常利益	769,511	114,624
特別利益		
新株予約権戻入益	28,952	－
債務免除益	1,113,728	－
特別利益合計	1,142,680	－
税金等調整前四半期純利益	1,912,192	114,624
法人税、住民税及び事業税	355,970	63,471
法人税等調整額	194	22,572
法人税等合計	356,165	86,043
四半期純利益	1,556,027	28,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	123,501	211,256
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,432,525	△182,674

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,556,027	28,581
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,076	△44,080
その他の包括利益合計	4,076	△44,080
四半期包括利益	1,560,103	△15,499
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436,602	△226,755
非支配株主に係る四半期包括利益	123,501	211,256

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	329,693千円	362,093千円
のれんの償却額	109,393	109,393

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,628,718	722,140	7,350,859	－	7,350,859
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	6,628,718	722,140	7,350,859	－	7,350,859
セグメント利益	945,430	133,079	1,078,509	△283,097	795,412

（注）１．セグメント利益の調整額△283,097千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,596,966	716,976	6,313,943	－	6,313,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,596,966	716,976	6,313,943	－	6,313,943
セグメント利益	710,565	48,648	759,214	△550,826	208,387

（注）１．セグメント利益の調整額△550,826千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。